



## KKR、アジア不動産1号ファンドをクローズ ファンド規模は17億ドル(約1,768億円)

【2021年1月14日】世界有数の投資会社であるKKRは本日、APACにおけるオポチュニスティックな不動産投資に注力するKKRアジア不動産パートナーズ(以下「アジア不動産ファンド」あるいは「当ファンド」)を17億ドルでクローズしましたので、お知らせいたします。

KKRアジア太平洋地域代表のミン・ルーは次のようにコメントしています。「アジア不動産ファンドのクローズによりAPAC地域における幅広い資産クラスにおけるオルタナティブ資金提供者であるKKRの成長が新たな段階に入ったこととなります。成長著しいAPAC地域においては、近代的な不動産や開発物件において洗練された投資実行力と革新的な事業ソリューションが要求されます。KKRの経験豊かなチームはオポチュニティーをとらえて投資を実行し、投資先の価値創造を実現し、最終的には当社の投資家へのリターンを創造すべく尽力します。」

KKRのアジア太平洋地域の不動産事業部門は、地域の新興国および先進国においてあらゆる資産やプラットフォームに対して都度柔軟にエクイティやデットの形で投資を実行しています。当ファンドは、世界の拠点で活動する経験豊富な投資チームや業界専門家のグローバルネットワーク、そして長年にわたり価値創造を実現してきた実績を活用し、KKRが相応の成長を主導できると想定される機会に投資します。当ファンドは大手不動産および開発会社から信頼されるパートナーとしてKKRが選ばれていることが基本となっており、今後は商業用、工業用、住宅用不動産など多岐にわたる分野に注力してオルタナティブ資産として不動産資産のオポチュニティーをとらえながら投資評価を行います。

KKRアジア太平洋地域不動産事業部門統括ジョン・パターは次のようにコメントしています。「APAC不動産業界でも事業のトランスフォーメーションが進み魅力的な投資機会のパイプラインが積みあがっており、KKRの柔軟な投資アプローチ、地域に根差した専門知識や運用経験を十分に活かすことができるとみています。同地域では消費や生産性が拡大し、都市化が進むとともにEコマースやプラットフォームベース・ビジネスが加速化しています。また、オフィス環境も大きく進化しており、不動産業界は根本的に変わりつつあります。今回のアジア不動産ファンドはこうした変化の時期において業界が必要とするソリューションを提供する役割を担ってまいります。」

当ファンドはKKRにとってアジア圏で初となる不動産ファンドであり、公的年金、企業年金、SWF(ソブリン・ウェルスファンド)、保険会社、財団基金、プライベート・バンキング・プラットフォーム、ファミリーオフィス、富裕層個人投資家など世界の多様な投資家から資金を受け入れました。当ファンドは、これまでにAPAC地域で調達された地域ベースの不動産ファンドとしては最大級の不動産ファンドです。

KKR不動産戦略チーム統括のジョン・フィオレロは次のようにコメントしています。「このコロナ禍に当ファンドの資金調達をクローズできたことは、KKRのAPACフランチャイズの強さ、世界中で証明された不動産投資の実績、そしてKKRが投資家に価値提供ができることの実証です。グローバル投資家にKKRの戦略とチームに信頼を寄せていただいたことに感謝しています。」

KKR は 2011 年以降、APAC 地域において複合施設、商業施設、工業施設、ホテル、オフィス、リテールなど約 20 件の不動産案件に 15 億ドル超の株式を投資しています。また、不動産開発業者や企業にデットの提供も行っています。KKR の APAC 不動産ポートフォリオには、韓国ソウル市のビジネス街の中心に立つオフィスタワー南山 SQUARE 等が含まれています。

KKR 不動産部門グローバル統括責任者ラルフ・ローセンバークは次のように述べています。「今回のアジアでのファンドのクローズは KKR のグローバル不動産投資事業にとってマイルストーンといえます。APAC 市場の成長力と人口動態を考えると、同地域は KKR の投資戦略にとって不可欠であり、重要度も増しています。今後は APAC 地域における投資を加えた分散投資ポートフォリオを構築することで、投資家に魅力的なリターンを提供できるようになります。」

KKR では 2011 年に不動産専用のビジネス・プラットフォームを立ち上げ、不動産チームは 8 か国で活動する 90 名以上の投資および運用のプロフェッショナルで構成されています。KKR は 2020 年 9 月 30 日現在で不動産向けに 140 億ドル超の投資あるいはコミットメントを米国、欧州、アジア太平洋地域で実行しています。

以上

#### **KKR について**

KKR は、プライベート・エクイティ、エネルギー、インフラ、不動産、クレジット、ヘッジファンドなど複数のアセット・クラスを手掛ける世界有数の資産運用会社です。長期的かつ規律ある投資アプローチで、世界トップクラスの人材を投じてポートフォリオ企業の成長と価値創出を主導、ファンド投資家に対して魅力的な投資リターンを創出することを目指しています。KKR はファンド投資家からの資金に加えて自己勘定資金の投資も行うと共に、キャピタル・マーケッツ事業を通じて資金調達ソリューションや投資機会も提供しています。KKR の投資に関する記述には、KKR がスポンサーとなっているファンドによる活動が含まれる場合があります。KKR (NY 証取: KKR) については [www.kkr.com](http://www.kkr.com) および [Twitter@KKR\\_Co](https://twitter.com/KKR_Co) をご参照ください。

#### **メディアお問い合わせ先**

##### **フィンズベリー・グラバー・ヘリング**

服部 070-7484-7703 [minako.hattori@fgh.com](mailto:minako.hattori@fgh.com) 岡本 080-9898-5591 [ayako.okamoto@fgh.com](mailto:ayako.okamoto@fgh.com)